

緊急事態宣言下における学校の感染症対策

新たな年を迎えましたが、県内の新規感染者は減少に転じてはいません。1月13日には、政府から新型コロナウイルスの緊急事態宣言の対象地域に、岐阜県を含む2府5県を追加するとの発表がありました。本校においても、これまで取り組んできている、朝の健康観察(体温チェック)や3密回避、手洗い・手指消毒・マスクの着用の徹底を引き続き行うと同時に、リスクが高いといわれる学習活動を一時停止し、安全を最優先に感染の危険を徹底回避します。

一時的に 停止する活動

共通の活動:「長時間、近距離で対面形式となる活動」、「近距離で大きな声で話す活動」
音楽:近距離での合唱・楽器演奏など「室内の近距離で発声等する活動」
体育等:「児童が密集し、呼気が激しくなる運動」、異学年との「近距離で接触する活動」
家庭:「児童同士が近距離で活動する調理実習」

文部科学省は「感染者が1人発生したことのみをもって、学校全体の臨時休業を行うことは控えるよう」との通知を発出していますが、緊急事態宣言の対象地域という実態を鑑み、本校では校内に感染者が発生した場合、岐阜保健所の指導に基づき、数日間の臨時休業も含め、全校態勢で対応する方針です。

つきましては、学校での感染拡大を防止し学校教育活動を継続するために、以下の内容についてご協力を賜りますようお願いいたします。

ご家庭へのお願い

- ◎毎朝のお子さんの検温の他、ご家族の体調確認をお願いします。発熱等、お子さんの体調がすぐれない場合は、登校を控えてください。
- ◎同居のご家族に発熱や咳など新型コロナウイルス感染症の症状に類似した症状のある場合やご家族がPCR検査を受検する場合、お子さんへの感染が心配される場合は、「感染の疑い」として出席停止とします。その旨、学校までご連絡ください。※1月19日配付「PCR検査を受ける場合」参照
- ◎感染経路は、家庭内感染が増えています。家庭にウイルスを持ちこまないために、外出先や帰宅時の手洗い・手指消毒をお願いします。また、食事前の手洗いを必ず行うこと、家族間でのタオル等の共用をやめること、家庭でも極力マスクを着用することなど、家庭内での感染防止対策をご検討ください。

一人一台タブレット PC の導入について

全ての児童が効果的に教育を受けることができる環境の整備を図るため、一人に一台のタブレット PC (タブレット型コンピュータ) の整備が進んでいます。富岡小学校にも全児童用タブレット PC が配置され、いよいよ授業への導入を開始します。

しばらくは、タブレット PC を使うことが目的となる活動が多くなりますが、タブレット PC を活用した授業が当たり前の風景になることは間違いありません。知りたいことを簡単に Web で調べることができるようになり、「答え」をすぐに得ることができるでしょう。しかし、「答えが見つかる」ことや「調べる方法がわかる」ことだけでは、自分の学びが高まっているとは言えません。見つけた答えや調べた情報を駆使して、自分自身の言葉で説明する感覚を身につけることが大切です。自ら問いを立てて解決をめざし、解決の途上でも新たな問いを生みだしながら、自らが決めたゴールに向かって学ぶことへと、学び方が変わっていきます。



タブレット PC を使った授業風景 (3-1 体育)

こうした環境が整備されることで、個人の学びが「見える化」されることも利点です。「いつ、どんな学習を行ったか」「時間は…」「点数は…」等の学習の状況や履歴が分かるようになっていきます。こうした学習の状況を、学校と家庭が共有することは、児童の理解の「見える化」につながります。学習の状況や履歴をもとに、児童の「よさ」を伸ばす学習方法を考えていきたいと思えます。